

令和 7 年度

アダチ若者会議

アダチ
若者
会議

キミも。ミーティング
～みんなの居場所編～

実施報告書



実施概要

「**き**っと**ミ**ライは**も**っと良くなる。」 「**キ**も**も**声を上げることができるアダチの一員。」の「**キ**も。」をコンセプトに、令和6年度より若者から直接意見を聴き、区の施策への反映を目指す「アダチ若者会議」を実施しています。若者から様々なアイデアや想いを聴いていくとともに、足立区のコトに興味を持ってもらうきっかけもつくっています。

今回のテーマは「みんなの居場所」

- 1 みんながほしいと思う居場所はどんなところなのか？
- 2 区有施設のフリースペース、学習スペースをどのようにすれば利用したくなるか？
を中心に、利用者側と運営者側の視点から意見を出してもらいました。

1 アウトリーチ版

10/8 in 新田地域学習センター
参加者数 7名 (足立新田高校の生徒)

2 公募版

10/19 in 足立区役所&中央本町地域学習センター
参加者数 4名 (当日2名欠席)

3 アウトリーチ版

10/23 in あやセンターぐるぐる
参加者数 6名 (居場所を兼ねた学習支援事業に携わる大学生スタッフ) 認定NPO法人カタリバ

4 アウトリーチ版

11/20 in 蒲原中学校
参加者数 9名

5 アウトリーチ版

12/12 in 加賀中学校
参加者数 13名

主な意見 意見全体として、**居場所を利用したいという意見が多かった。**
一方で **以下のような課題が見えてきた**

(1) フリースペースや学習スペースがあることをそもそも知らない

▶ **1 情報を若者へ届ける工夫が必要**

(2) 誰のため、何のための場所なのかがわからないと利用しづらい

(3) 何もしなくてもいいが、何かしたい時にできる環境が重要

▶ **2 利用目的・ターゲットの明確化が必要**

(4) Wi-Fi、ゲーム、食べ物の自動販売機などがある居心地の良い場を求めている

(5) 安心感があり、大学生スタッフによる学習・相談サポートがほしい

(6) 他自治体のような中高生向けのユースセンターがほしい

▶ **3 ソフト面・ハード面の環境整備が必要**

中高生世代からのご意見

1 アウトリーチ版

10/8

in 新田地域学習センター

参加者数 7名 (足立新田高校の生徒)

2 公募版

10/19

in 足立区役所 & 中央本町地域学習センター

参加者数 4名 (当日2名欠席)

3 アウトリーチ版

11/20

in 蒲原中学校

参加者数 9名

4 アウトリーチ版

12/12

in 加賀中学校

参加者数 13名

▲ 学校（教室・体育館）

土日も自習で利用できるから
自習室では扉がなく、先生に質問しに行きやすい
部活動

▲ 自宅

一人の時間を過ごせるから
好きなことができる（遊ぶ・食べる・寝る・休む）
お金がかからない

➡ 「学校（教室・体育館）」 「自宅」の意見が大半であった

「家・自宅」「学校・教室」以外の意見

▲ 図書館

静かに勉強できるから（学校の自習室は騒がしく、たまり場となってしまうため）
課題の調べものをするため
塚原図書館にはバランスボール席があって好き

▲ 市民体育館

友人と一緒に運動しに行く
行き慣れている

▲ 地域学習センター（フリースペース・図書館）

テストに向けた勉強
暑いときに利用

▲ 公園・河川敷

友達とおしゃべりするため
遊具で遊ぶため
運動をするため

▲ テラコヤ（豊島区にある小中高生が無料で利用できる勉強スペース）

大学生スタッフが勉強や受験情報、悩みの相談に応じてくれるから

▲ 塾・習い事

スポーツ
ピアノ
プログラミング

▲ アルバイト先

お金を稼ぐため

▲ 学校の最寄り駅

改札の前で雑談

▲ カラオケ

友達に誘われて遊びに行く
安価で長時間利用できる
歌いに行く

▲ 本屋

見るだけでワクワクできる
全く知らなかった本に出会える
ご飯や映画などの娯楽施設などを知れる

▲ 映画館

友達と数時間一緒にいることができ、感想を話し合いより仲良くなれる

▲ フードコート

友達と遊びに行ったり、勉強したりする
友達とお話できる
ご飯を食べてから、ショッピングもできる

▲ ショッピングセンター

近くにあり、お店が充実しているから
フードコートや服屋があるため、友達と遊ぶ場所として利用する
自転車で行けて、買い物ができるから

▲ ボランティア活動の場

部活に加入していて、子ども食堂や保育園で園児と交流、学校でペットボトル回収を行っている

▲ ファミレス・カフェ・ファストフード店

友達と勉強や雑談
1人で勉強しやすい雰囲気
集中できる
勉強しながら自分のタイミングで食事もできる

▲ ジム

運動をするため

▲ ボーリング

友達と遊ぶため

▲ 渋谷

家族と買い物



足立区のフリースペース・学習スペースをどのように利用しているか？なぜ利用しているか？

- 暇つぶし（読書）
- フリースペースが吹き抜けになっていて開放感があるから
- 出入りがしやすいから
- 机が大きくて友達とおしゃべりしやすいから
- テスト期間中に友達と一緒に勉強するため（一人で集中したいときは図書館を利用する）



足立区のフリースペース・学習スペースをどのように改善すれば利用したくなるか？

環境・雰囲気

目的・ターゲットの明確化

- 若者が使用したくなるような名称にする
- 利用したいと思うメリットをつくる
- 目的をはっきりする（目的がないと行かない）
- 誰のためのフリースペースなのかがわからないので明確にする
- 目的をフリースペースから学習スペースに変更し、大学生スタッフを配置する

安心感・スタッフ配置

- 高校生・大学生などの若者のスタッフを配置
- 安心して利用できるようにする（安心できるスタッフがいる）

集中できる環境づくり

- パーティションをつける（人目を気にしないですむため）
- 1人で集中できるようにする（1人ブース）
- 集中したい人とそうでない人とを分ける

空間の明るさ・温かさ

- 暖色系の色合いにする（ライトなど）
- 机やイスなどの色合い（木目調など）を変えて、雰囲気を明るくする
- 温かさを加える（照明を明るくする、丸テーブル設置、観葉植物など）

空間の入りやすさ・区分け

- カーテンをなくす（区役所のアトリウムのフリースペース）
- 自動ドアのような扉にすると入りやすくなる、もしくは扉がない環境にする
- カーペットを用意して別空間にするとフリースペースだとわかり、利用しやすくなる
- フリースペースを広くする

設備・機能

Wi-Fi 関連

- Wi-Fiが利用できる案内表示
- 受付に行かなくても利用できるフリーWi-Fi

利用ルール・表示

- 使用していいのかがわからないため案内板を設置する

環境設備・機能

- 食べ物の自動販売機（パン、お菓子）
- 本棚がほしい（参考書など）
- 誰でも利用できる環境にする（手すりなど）
- カフェが利用できる
- 移動しやすい机（長机しかないので、移動がしづらい）
- ボードゲームがあると良い
- タイマーがあるといい

立地・アクセス・利用条件・情報発信

利用対象

- 中学生は、夏休み期間中は塾を利用しているので、利用しないのではないかと思う

利用条件・利用環境

- 座席の空き状況がわかると良い
- 学習室を通年利用できるようにしてほしい
- 勉強以外で利用できる日をつくる

周辺環境

- 施設の近くに飲食店

周知・認知の拡大

- Instagram、TikTokで発信
- 場を活用した中高生が企画した中高生向けのイベントを実施し、知ってもらう機会をつくる



環境・雰囲気

一人で過ごせる・落ち着ける

- 一人になれる
- 人目を気にせず過ごせる
- ゆったりできる・気楽に行けるスペース
- 仮眠スペース
- 一人で過ごすことができる（一人カラオケ、勉強、スポーツ）
- 個室
- 落ち着いた雰囲気

空間の入りやすさ・区分け

- 個別ブース
- パーテーションがある
- 個人ブースとみんなでおしゃべりできるスペースを分ける
- 中学生と高校生が交流できる環境、または別々で利用できる環境
- 中学生と高校生が混ざらない方がいい
- 利用できる場所などを対象者に応じて工夫する

交流・コミュニケーション

- 同じ趣味を持った人とコミュニケーションがとれる場所
- クラブ活動を行うことができ、人とのつながりが生まれるところ
- 友達とおしゃべりできる
- 遊んでくれる大学生・同世代の人がいる
- 大学生と安心して相談できる
- 他の学校の人との交流は望まない

安心感・スタッフ配置

- 注意をしてくれるスタッフ
- 警備員がいる
- 利用者登録をしてもらう（犯罪などを防ぐため）
- 大学生スタッフによる学びのサポートは望まない

空間の印象

- スペシャル感がある
- 開放感、太陽が入る

設備・機能

Wi-Fi 関連

- Wi-Fiがある
- コンセントがある
- 充電器がある

環境設備・機能【学習】

- 自習室
- 学習スペース
- 勉強を教えてくれる人がいる
- 図書室（漫画や小説）
- コピー機が使える
- 勉強用のヘッドホンの無料貸出

環境設備・機能【娯楽】

- ゲーミングPC
- 価格が高いゲームができる
- ボードゲームができる
- カラオケ
- 防音室

環境設備・機能【運動】

- ジム
- プール
- 体育館
- スペースを気にせずスポーツができる
- スポーツができるところ（サッカー・野球・バスケなど）
- 壁打ちスペース
- 普段できないスポーツ（卓球・軽い運動など）
- スポーツ用具の無料貸し出し

環境設備・機能【リラックス】

- サウナ
- 温泉

環境設備・機能【飲食】

- 無料の飲み物（水・お茶）・冷水機
- ドリンクバー
- 飲食コーナー（電子レンジ・ポットなど）
- 食べ物が購入できる自動販売機
- キッチン（お菓子作りなどができる）
- ホットプレートなどが使える部屋
- カフェ（アルバイトもできたらいい）

環境設備・機能【その他】

- 部屋系の施設が2つずつぐらいほしい
- イベントを行うスペース
- 利用者のニーズに応える目安箱設置
- スタンプカードを作る（利用割合に応じて特典を付与することで利用促進を促す）
- クールスポットなどのように暑さや寒さをしのげる
- ショップがある（部活用品など）
- 庭・芝生がある
- きれいなトイレ

立地・アクセス・利用条件・情報発信

立地・アクセス

- 学校・家の近くにある
- 徒歩で行ける場所
- アクセスが良いところ（自転車で行ける範囲）
- 駅前にある（北千住駅など）
- 駐輪場がある

利用条件・利用環境

- 休日は早めに開館している
- 朝早くから夜遅くまで開館している
- 20時もしくは21時頃まで開館
- 時間制限がない
- 時間制で利用できる
- 部屋の貸出は予約不要もしくは予約時間を細かく分ける
- 登録なしで利用できる

周辺環境

- 近くにコンビニがある
- 飲食店（回転ずし・焼肉・マクドナルドなど）

中高生の居場所の運営に携わる若者からのご意見

1 アウトリーチ版

10/
23

in あやセンターぐるぐる

参加者数 6名（居場所を兼ねた学習支援事業に携わる大学生スタッフ）

認定NPO法人カタリバ



みんなはなぜ居場所支援に関わっているの？

- 高校のときに地元の大人にお世話になった経験があり、自分もそんな存在になりたいと思ったから
- 高校のときの友だちがきっかけ
- 居場所支援を通して、中高生の周りに色々な大人がいることが大切だと思ったから
- 中高生の成長を見れるのが楽しい
- 学校以外の居場所に興味
- 学習支援に携わりたいと思ったから
- 実家でも居場所支援を行っている環境で育った。家庭、学校に居場所がない子どもたちと兄弟のように育ったが、その反発で海外へ行くことになった。そこで、外（海外）から日本を見た時に、日本にも苦しんでいる子どもたちがいることに改めて気づかされたから
- 教育に関心があったから（アントレプレナーシップ学部で学んでいく中で、起業するなら教育だと思ったことや、兄弟全員が教員になり、教育というテーマに触れることが多かったから）
- 自分の中高時代に必要性を感じていたから
- 小中学生の時に居場所がない、楽しくないと感じ、「学校以外の居場所を作ろう」「学校だけじゃないコミュニティを作りたい」と感じたから
- 色々な人（子どもも大人も）色々な文化、経験に触れて世界を広げてほしいと思ったから
- 学校だけじゃできないコト、モノを子どもたちに提供したいと思ったから



実際に関わってみてどのようなことを感じましたか？

- 「相談室においで」と言ってもやってこない
- 子どもたちから本当の声は出てこない
- 調理中、ボードゲーム中、帰り際などで本当の声が出てくる（時間がとてもかかる）
- 今まで知っていた居場所とアダチベースとのギャップに最初はとまどったが、居場所によって様々な色があることを知り、どちらも大切に、色々な形があってもいいんだと気づいた
- 高校中退、受験、就職、非行などに対する支援にもどかしさや、やりがいを感じる
- 社会課題が身近になった
- 知らないことをスタッフ、子どもからたくさん学べるのが楽しい
- もっと中高生の成長を見たいと思えた
- 普段のチームワークの大事さ
- 自分の中高生時代を思い出すようになった
- 成長することがうれしい
- 自分自身が居場所と感じる
- 学校終わりに来館するというのに驚き、家と学校以外の居場所などのコミュニティの重要性を感じた
- 色々な子どもたちがいること（学校に行っている・行っていない・特性・特徴・性格など）
- みんな違うから対応が難しいが楽しい
- スタッフの視座が高い（生徒個人、全体、チームとしての視点）
- スタッフ同士の意見交換が活発で、なんでも言い合えるチーム
- 意外と中高生のニーズがある
- 生徒が映し鏡になって自分を見つけ直すことができた
- 楽しい
- 少しだけでも大人の人と触れ合うことは大事



子ども・若者たちに利用してもらうために必要なこと・必要な環境とは？

- 無目的性（何もしなくてもいいが、何かしたいならできる環境）
- 自分が必要とされている
- 何もしなくても良い場所と何かができる場所
- やりたいができる
- 話を聞いてくれる人がいる場所
- 温かいご飯を一緒に食べる・作れること
- 情報が得られる
- イベントがたくさん（お菓子作りなど）
- 家でできないことができる
- みんなでご飯を食べれること、食卓を囲めること
- 一緒にいてくれる人（色んなジャンル、タイプのスタッフ）
- 集まれる場所
- 行きたくなる人
- 多種多様な人
- おもしろい人（距離感を良い感じで保ってくれる人）
- 違う世界との出会い
- 何ができるか明確になっているとともに、何もしなくていいよの空気
- 多様な子が共存できるフロアで分けられていたり、目的ごとに分けられている



子ども・若者にとって居場所支援は必要か？

- 自分で見出せない人にとっては必要
- それぞれの機能を持っている居場所がたくさんほしい
(ライブハウス、スポーツができる場所など)
- 大前提として適切なスタッフが必要
- 1か所あればいいわけではなく、団体同士、居場所同士で手を取り合う必要がある。なじめなかったときにここもあるよとつなげることができることが大切
- ユースセンター、居場所としてある場だけが居場所ではない。選択の一つとしてあることが大切
- ただの居場所は必要ないが、ターゲットが明確になっている居場所は必要
- お金をかけて大きな居場所を1つというよりも、ターゲットが明確になっている低コストな居場所が複数あるほうがいい
- あるだけじゃ意味がない
- 利用者に何を届けられるか、利用者が何を受け取れるか
- 社会にとっては必要かどうかは微妙だが、誰かにとっては必要
- 対象が広がれば広がるほど目的が必要になる
- 居場所間での連携も必要
- 居場所を利用していることによって、暇をマイナスな方へ発散することがなくなるのではないかと思う
- 利用者が選べる居場所が必要
- 居場所がほしいと思って居場所を利用する人はあまりいないと思う。利用しているうちに居場所になる
- 子どもたちに居場所が必要かと聞かれてもわからないと思う。5年後とかにあのとき居場所があつてよかったと感じるんだと思う



環境・雰囲気

目的・ターゲットの明確化

- ターゲットを勉強したくない中高生にする
- ターゲットを時間によってわかる

安心感・スタッフ配置

- 勉強を教えてくれる人がいる
- 区で行っていることは親にとって安心感となる

空間の入りやすさ・区分け

- おしゃべり部屋と静かな部屋で分ける
- グリーンカーテン、レースカーテンのような囲い
- 完全に視界を遮らないぐらいの囲い

交流・コミュニケーション

- グループ学習ができる
- おしゃべりができる
- おしゃべりしながら勉強できる部屋がいい

設備・機能

Wi-Fi 関連

- Wi-Fiがある
- 電源がほしい

環境設備・機能

- 参考書を置く
- コピー機
- ゲームができる場所が必要
- ガチャガチャを置く
- プリクラ機を置く
- 芝生スペースで、靴を脱いで上がることができる場所
- レイアウトや家具を変える（ソファ、yogiboなど）
- 椅子、机の高さを低く、やわらかくする
- 宿題後にゲームができる環境
- ゲームスポットにする

立地・アクセス・利用条件・情報発信

立地・アクセス

- 区役所には目的がないと行かない、ハードルが高い
(区役所にあるフリースペースの活用について意見を聴いた際の回答)

利用条件・利用環境

- 22時、23時まで空いている
- 夜遅くまで利用できる(図書館が閉まってからの場所がない)
- 土日祝利用できる

周知・認知の拡大

- 利用をしてもらうには親へのアプローチが必要
- チラシの改善を図る
- 1チームが利用したら、口コミで広まる
- 名称(愛称名)などをつける
- 場所の名前を決めて、チラシに載せる
- ギャップがあると口コミで広まると思う

その他

その他

- ハコを作れることが行政の強みだが、その中のコミュニティデザインは市民団体に任せるほうがいい
- 勉強という名目で集まりたいだけ(家に帰りたくないだけ)

参加者の感想

参加者数 7名（足立新田高校の生徒）

参加者の感想

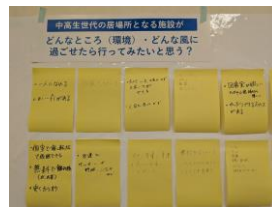
- 「これがあったらいいな」などを考えたことがなかったので、みんなで考えて意見を出すことがとても良い経験だったと思います。
- 足立区の問題について考え、自分の意見を伝えることができた。今回の会議を通して、足立区や他の区の学習施設について調べてみようと思った。
- 自分が足立区民なので、自分の家の施設のことについて考える機会があり、とても楽しかったです。今ないものをみんなと考えるのも想像豊かで面白かったです。
- 新田に来てから、鹿浜住区センターのような施設がここにもあることが知れたので良かったなと思います。実際学校の近くに学習や休憩スペースがあると、気軽に足を運ぶことができるので、とても良いと思いました。
- しゃべり過ぎた気がしますが、こういう意見を言う場は嫌いじゃないので、参加できてよかったです。
- 自分の想いや意見を伝えられて良かったと思います。会議に参加したことで、足立区について色々今まで知らなかったことを知ることができました。もっと安心して居られるような街になれるように尽力したいと思います。
- 楽しかったし、他の友達がこう思っていることがあるんだって知れてよかった。

① アダチ若者会議に参加して楽しかったですか？

とても楽しかった 4人 楽しかった 3人

② 自分の想いや意見を伝えることができましたか？

すごくできた 6人 できた 1人



参加者数 4名（当日2名欠席）

参加者の感想

- 意見を大人に伝えられる機会は少ないのでとても良かった。
- 足立区の学生チームとかがあればもっと面白いと思った。
- 足立区の普段分からない施設を知れて楽しかった。
私たちの意見、感想がこうやって関わって、反映させているのだなと思えた。
- TikTokやInstagramで宣伝してみてもはどうでしょうか。TikTokはスクロールなので、人に見られる率が上がると思います。
- 良くしようと努力する大人の姿を見てとても満足した。
- 区役所というと大人向けの施設のイメージが強いですが、中高生のためのスペースもあって、足立区に住む色々な人への配慮がされていてありがたいなと思いました。今日、私たちが出した意見を前向きに考えてくださるとのことです、若者の意見が反映されていくのがとてもいいなと思いました。
- もう少し定員を増やした方がたくさんの意見が出るのかなと思いますが、このくらいクローズドの方が意見は主張しやすかったです。お忙しい中、楽しい企画ありがとうございました。

① アダチ若者会議に参加して楽しかったですか？

とても楽しかった 3人 楽しかった 1人

② 自分の想いや意見を伝えることができましたか？

すごくできた 1人 できた 3人



参加者数 6名（居場所を兼ねた学習支援事業に携わる大学生スタッフ） 認定NPO法人カタリバ

参加者の感想

- 普段聞けないみんなの意見を聞いてよかったです。改めて「居場所」について考えることができ、今後の活動にも活かせるお話ができたと思います。
- 足立区が行っていることについて知る機会がなかったので、今回教えていただきとてもよかったです。今後もよりよい事業を期待しております。
- 行政の方々の意見を踏まえたうえで議論できることが楽しかった。現場のリアルな意見を伝える場を持てたことが大事だと感じた。
- 若者の中でも多種多様な人たちに意見を求めることが大事だと思いました。
- 話しやすい場で参加していて楽しかったです。また、大学生では普段もてない行政という視点に触れることができ、良い機会になりました。
- 区役所での取り組みが非常に印象的でした。大学のゼミなどとコラボして、プロジェクトとして進めるのもおもしろいと思いました。
- 始めはなかなかうまく話すことができなかったが、空気が和やかになってきた後半は意見を伝えられるようになっていた。
- 少し堅い空気で話しにくいかもしれない。問いが大きく、何を話せばよいかわからない時間があった。
- 改めて日々の活動について語る事ができて、私自身もとても楽しかった。そもそも居場所支援って必要なのかや、実際に開かれている場がよりよくなるにはなど、改めて考えさせられる問いも多く、ディスカッションは楽しく、学びにもなりました。
- 実際に活動している側の声を聴いてくださること、とてもありがたいです。足立区全体として、子どもたちのために居場所というものに向き合ってくれる大人がいるということが、とてもうれしかったし、自分ももっと頑張ろうと思えました。
- 居場所について（他のことについても）行政の方の前で意見を話す機会はなかなかないため、楽しかったです。また、カタリバスタッフと居場所について長時間話すことができ、新たな視点や考えを得ることができました。
- 前回参加した時よりもテーマが明確なため話しやすいと感じました（全員知り合いということもありますが）。とても楽しい時間を過ごせました。

① アダチ若者会議に参加して楽しかったですか？

とても楽しかった 6人

② 自分の想いや意見を伝えることができましたか？

すぐできた 2人 できた 4人



参加者数 9名

参加者の感想

- 私たちのために、ここまで取り組んでくれているんだなと思えることができた。
- 自分が「こうなってほしい」と考えていたことをたくさん言えて、足立区がより良くなってほしいと改めて思った。
- 自分たちが使っているスペースがもっと良くなってたくさんの人に使われてほしいと思った。
- 自分たちの第三の居場所に対してのイメージを理解できる機会となった。
- こういう会で足立区の施設が良くなってほしいと思った。
- どのような雰囲気でも何を話せばいいかわからず、緊張していましたが、話しやすい雰囲気をつくっていただきとても居心地がよかったです。
- 私たちの意見が足立区をより良くするきっかけになっていただければ幸いです。
- 自分では施設（東和地域学習センター等）に満足していたつもりが、他区の施設（b-labの写真）を見ると、違うところがたくさんあって驚きました。b-labのような施設ができると嬉しいです。
- 話しやすく明るい雰囲気で進行してくださったおかげでたくさん意見を出せました。参加できて楽しかったです。
- 最初は空気が固かったですが、時間が経つにつれて自分の意見が言えるようになりました。
- 役所の皆さんも話しやすかったし、こちらの意見を実行しようとしてくれているのが嬉しかったです。
- 自分の思っていたことを言えてとてもよかった。

① アダチ若者会議に参加して楽しかったですか？

とても楽しかった 9人

② 自分の想いや意見を伝えることができましたか？

すごくできた 8人 できた 1人



参加者数 13名

参加者の感想

- 気軽に意見を話すことができた。
- 近くにあるフリースペース（鹿浜地域学習センター）しか行ったことがなく、他の場所を知ることですべての良所や改善してほしい所を見つけられた。
- 自分の意見でこれからの足立区がもっと良くなってほしいという気持ちが強くなった。
- 他の人の意見を聞くことができ、とても有意義な時間だった。
- 意見で出たような居場所が近くにあると、とても充実した休日を過ごせると思った。
- 自分たちが思う理想の居場所をアダチ若者会議を通して伝えることができてよかった。
- 中学生になり、友達と出かけることが増えたので気軽に過ごせる場所ができると嬉しい。
- アダチ若者会議により、自分たちの想いが届いて良いと思った。
- 今回、私たちが出した意見が一つでも通ると良いと思った。
- 私たちの意見をわかりやすくまとめており意見を出しやすかった。
- こういう機会をもっと行ってほしいと思った。
- 私たちの意見が役立つかはわかりませんが、このような機会があれば参加したい。

① アダチ若者会議に参加して楽しかったですか？

とても楽しかった 9人 楽しかった 4人

② 自分の想いや意見を伝えることができましたか？

すごくできた 5人 できた 8人





KITTO MIRAI HA MOTTO YOKUNARU.

キミも声を上げることができるアダチの一員。

